

# サステナビリティが ビジネス・地域・科学を つなぐ！

▶2020 年代=SDGs 時代の働き方、生き方を考えよう◀

2017 年 **10 月 12 日** (木) 19:00~21:30 (18:30 開場)

光塾 COMMON CONTACT 並木町

参加費：1000 円 (学生 500 円) / 市民研会員向け割引あり / 事前予約が必要です (定員 40 名)

社会の良い変化につながる新しい仕事を、多くの人が自分の手で作り出してほしい——株式会社エンパブリック代表の広石拓司さんは、そのビジョン実現に向けて、地域や組織から新しい仕事を生み出していく場づくりに取り組んできました。広石さんは、これまで文京区、杉並区、千代田区などで活動の立ち上げを、どのように応援してきたのか、そして、2020 年代=SDGs の時代にビジネスや地域や仕事はどう変わるのか、お話しを伺ったうえで、これからの働き方、暮らし方を考えます。



◆講師プロフィール◆

**広石拓司**さん 株式会社エンパブリック代表

東京大学大学院薬学系修士課程修了。シンクタンク、NPO 法人 ETIC を経て、2008 年株式会社エンパブリックを創業。「思いのある誰かが動き出せ、新しい仕事を生み出せる社会」を目指し、地域・組織の人たちが知恵と力を持ち寄る場づくり、仕事づくりに取り組むためのツール、プログラムを提供している。慶應義塾大学総合政策学部、立教大学経営学部などで、ソーシャルビジネス、サステナビリティ&ビジネスの講師も務める。http://empublic.jp

お申し込みは市民研ホームページ  
[www.shiminkagaku.org/](http://www.shiminkagaku.org/)  
の専用サイトでも受け付けています

市民研 @ 光塾 COMMON CONTACT 並木町  
NPO 法人 市民科学研究室

主催：NPO 法人市民科学研究室

お申込み・お問い合わせ：03-5834-8328 renraku@shiminkagaku.org

## ●市民科学講座 B コースとは

・科学と社会”をめぐって幅広いテーマをとりあげての、あるいはゲストの活動や言説に焦点をあてての、参加者と自由に語り合う講座です。

・進行役になる上田（市民研・代表）を含め、参加者と双方向での充実した議論ができるよう、工夫をこらした講座となります。ぜひ会場にいらして熱いライブの輪に加わってください。

・イベントの報告は後に『市民研通信』に掲載されます。また当日の投映資料、配布資料の一部などは市民科学研究室会員には無償で提供されます。この機会にぜひ市民科学研究室会員にご登録ください。

※市民科学研究室が主催（あるいは共催）する市民科学講座は次の4つのコースがあります。

A コース……外部講師（主として自然科学系の研究者）を招いて、特定のテーマで行う学術的な講演会

B コース……“科学と社会”をめぐって幅広いテーマをとりあげての、あるいはゲストの活動や言説に焦点をあてての、参加者と自由に語り合う講座

C コース……市民研の各研究会が担う、研究発表もしくは様々な形でのイベント

D コース……市民研事務所を使って軽食をとりながら、ゲストと少数の参加者との間で交わす気さくな談話の場

## ●市民科学講座 B コース（2015年7月～）これまでにご登壇いただいた講師の皆さん（敬称略）

髙島次郎、霜田求、林真理、五島綾子、最相葉月、眞鍋じゅんこ、榎木英介、三河内彰子、武田徹、三上直之、中田哲也、池尻成二の各氏（講座の記録を順次、市民研ホームページで公開しています。）

## ●光塾へのアクセス



JR 渋谷駅の新南口改札から徒歩1分。

渋谷駅からは外に出ず、

埼京線への乗り替え連絡通路で新南口に出ると便利。

渋谷区渋谷3-27-15 光和ビル地下1階

tel. 03-6427-6462

## 「市民科学研究室」とは

市民科学研究室は（1）科学技術にかかわる様々な意思決定や政策形成への市民参加、（2）様々な社会問題の解決に向けた専門知の適正な活用、（3）"持続可能で生き生きとした生活"のための科学研究や教育の実践、に取り組んでいるNPOです。市民の問題認識力を高めるための講座や勉強会を運営し、市民が主体となった調査研究や政策提言や支援事業をすすめています。リビングサイエンス(=生活を基点にした科学技術)という概念を手がかりに、様々な角度から「生活者にとってよりよい科学技術とは」を考え、そのアイデアを実現していこうとしています。

電話：03-5834-8328 FAX：03-5834-8329

メール：renraku@shiminkagaku.org

ホームページ：www.shiminkagaku.org/